

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	田島 祥光	会員番号:	13058	事務局整理記入欄	北海道 - 209
分水嶺区分:	トムラウシ南沼～H086トムラウシ山～H082沼ノ原	(3) 山行日:	2005年	7月	10日	(4) 天候:	曇り

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

CL大崎勝子	13269	金曾 朗	会友					
SL助田梨枝子	12996							
助田陽一	12995							
田島祥光	13058							
計					5名		計	名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略: トムラウシ南沼キャンプ場～H085化雲岳～H084五色岳～H082沼ノ原～沼ノ原登山口													
アプローチ:													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	トムラウシ山南沼	トムラウシ山	142	50	40.65	43	31	32.15	1,967.2		5:30		幕营地
分水嶺到達点	トムラウシ山南沼	"	142	50	40.65	43	31	32.15	1,967.2		5:30	A-2	(8), (9), (10)
H086	トムラウシ山	"	142	50	55.62	43	31	37.67	2,146.3	6:00	6:10	A-2	(8), (9), (10)
H085	化雲岳	"	142	51	41.39	43	33	55.48	1,954.2	9:30	9:40	A-2	(8), (9), (10)
H084	五色岳	五色ヶ原	142	53	37.61	43	33	58.85	1,862.2	10:40	11:00	A-2	(8), (9), (10)
分水嶺離別点H082	沼ノ原	五色ヶ原	142	57	22.16	43	32	1.57	1,446.2	13:40	13:55	A-2	(8), (9), (10)
歩行終了点	沼ノ原登山口	"	142	58	14.68	43	33	23.86	1,086.0	15:00		A-2	(8), (9), (10)
総歩行時間(休憩時間を除く):												7時間10分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H086トムラウシ山	富良牛山	1		良好	M36.6.16撰点
H085	化雲岩	3		良好	T5.5.19撰点

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

トムラウシ山～化雲岳～五色岳の間とところどころ木道が点在している。 五色岳～沼ノ原間の木道はおおよそ60%ぐらい設置されているが、高山植物の保護のためにも、もう少しのばしてほしい。 登山道の分岐点には案内道標が設置されているが、途中のガレ場の距離が長いところには目印、案内標識がほしい。

(9) 水および植生に関連した特記事項

南沼～トムラウシ山: ガレ場のところどころにコマクサが点在している、頂上は岩塊の積み重ね状。
トムラウシ山～化雲岳: 岩塊を下ると大きな北沼に出る、中間には岩場、沼、チングルマ、エゾツガザクラなどの高山植物が見られる日本庭園がある。
化雲岳～五色岳: 背丈の高いハエマツ帯
五色岳～五色ヶ原: ハエマツ帯と高山植物の花園のいったいの地域、雪溪の雪解けが遅く花はまだまだの状況であった。
五色ヶ原～沼ノ原: ハエマツ帯を過ぎると背の低いダケカンバ、ミヤマハンノキ、クマザサとなる。
沼ノ原: 1400mの台地に大沼ほか無数の沼が点在する大湿原地帯。
ワタスゲ、エゾカンゾウ、タチギボウシ、モウセンゴケなどの湿原植物帯。

(10) その他の特記事項

今年は例年になく残雪が多く五色ヶ原の花園は見られなかった。 化雲岳から五色ヶ原間の分水嶺には登山道はなく踏査できなかった、ほぼ並行している登山道を踏査した。 沼ノ原から登山口間の登山道は大雨が降るたびに川になり、道がえぐられ年々荒廃している状況である。 沼ノ原登山口林道ゲートは施錠されている。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: